

東北最大の生産量 ～元気に咲く桃生ガーベラ～

石巻市桃生町は、東北一のガーベラの生産量を誇る。日照時間が長く環境も適しているという。

桃生町の6軒の農家で構成されているJAいしのまき桃生ガーベラ部会では、年間約400万本を生産し、一年を通して出荷している。出荷先は、8割が



首都圏で、2割が仙台・石巻。ハウスの中では、彩り豊かなガーベラが一面に広がり見事だ。

桃生町のガーベラは、いしづき（基部）を残したまま出荷するのがこだわり。ハサミを使わず一本一本丁寧に根元から摘み取ることにより、菌の繁殖を防ぎ、鮮度を保ったまま出荷している。また、残った株の菌の繁殖防止にも繋がっている。鮮度にこだわったガーベラは日持ちも違う。

昨年から、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、イベントが次々と中止され、業務用の需要が大きく減っている中、今まで花を買わなかった人々が長引く自粛生活で花を求めるようになり、個人消費が増えているという。

同部会の西條由美恵さん（46）は「今までにない新たな需要が生まれ、どんな時でも花きの需要は途切れないものだと改めて感じ、大変ありがたいです」と話す。